

内科専門医研修プログラム (静岡赤十字病院)

1 はじめに

本プログラムは、静岡保健医療圏の急性期病院である静岡赤十字病院を基幹施設として、近隣の連携施設と協力し、将来的に静岡県内だけでなく日本全国で活躍できる「主治医機能」をもった内科専門医（以下、専攻医と称する）の養成を基本理念とする。



主治医機能とは、患者の持つ全ての病気を抽出・管理し、それに対して診療責任を持つ医師の役割のことである。主治医機能は、単に「自分が主治医である」というような思いや感情のみで達成されるものではなく、主治医機能を発揮するために作られた診療方式を常日頃から訓練・実践することにより達成されると考えている。本プログラムは、このための診療方式である「総合プロブレム方式」の修得を主たる目標とした。

また、本プログラム専門研修施設群での3年間の研修で、内科指導医の指導の下、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた研修を通じ、内科学的基本的臨床能力も併せて修得することができる。

標準かつ安全な患者中心医療の実践は、実際簡単なことではない。我が国における臓器別専門内科の充実が、単一疾患を主とする患者を診断・治療することに対して多大なる貢献をもたらしたのは事実であるが、一方でどの専門内科にも適しない症状や複数疾患を抱えた患者を診断・治療することに対して医療的・社会的な不全を生じさせているのも事実である。この結果、いわゆる患者のたらい回しが生じ、現状全ての患者に対して患者中心の医療が実践されているとは言い難い。この不全の主因は、本来ならば多くの内科医が有すべき主治医機能の喪失であると考えている。本プログラムは、主治医機能を持つ内科医の育成こそが社会的な使命であると考えて作成された。

プログラム統括責任者 静岡赤十字病院 内科部長 久保田 英司

2 目的

本プログラムには、【総合内科専攻コース】と【サブスペシャリティ専攻コース】の2つのコースがある。いずれのコースも「総合プロブレム方式」の修得を目標としているが、【総合内医専攻コース】ではプログラム修了後に総合内科主治医となることを最終目標に、【サブスペシャリティ専攻コース】では臓器別専門内科主治医となることを最終目標としている。

いずれのコースも主担当医として外来患者・入院患者を可能な範囲で継続的に診療する。この間、「総合プロブレム方式」を用いて診療を行う。「総合プロブレム方式」の日々の実践により、疾患抽出能力・診断能力・疾患管理能力・治療決断能力・コンサルテーション能力・患者説明能力・社会的環境調能力といった主治医機能の核となる能力を修得することができる。

専攻医2年修了時で、研修手帳に定められた70疾患のうち、少なくとも通算で45疾患群、120症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システムに登録できる。また、

指導医による指導を通じて内科専門医ボードによる評価に合格できる 29 症例の病歴要約を作成できる。

専攻医 3 年修了時で、研修手帳に定められた 70 疾患のうち、少なくとも通算で 56 疾患群、160 症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システムに登録できる。可能な限り、研修手帳に定められた 70 疾患群、200 症例以上の経験を目標とする。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

静岡赤十字病院

(2) 専門研修連携施設

浜松赤十字病院、静岡厚生病院、静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、慶應大学附属病院、国立がん研究センター中央病院、静岡市立清水病院、西伊豆健育会病院（順不同）

4 専攻医受入数

7 名

5 研修期間

3 年

6 研修計画（例）

【総合内科専攻コース】

	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
1年次	当院総合内科											
	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	神経内科	内分泌代謝内科	血液内科	リウマチ科					
2年次	連携施設①						連携施設②					
3年次	当院総合内科											

【サブスペシャリティ専攻コース】

	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目
1年次	当院総合内科											
	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	神経内科	内分泌代謝内科	血液内科	リウマチ科					
2年次	連携施設①						連携施設②					
3年次	当院臓器別専門内科あるいは慶應義塾大学附属病院臓器別専門内科											

7 問い合わせ先

〒420-0853

静岡県静岡市葵区迫手町 8 番 2 号

静岡赤十字病院

総務課 労務係 森裕香

電話番号：054-254-4311

Mail : kensyu@shizuoka-med.jrc.or.jp